

コンクリート構造物の 補修・補強に関するフォーラム 2022



～コンクリート構造物の健康寿命を延ばし、脱炭素社会を目指す～

脱炭素社会に向けて、あらゆる分野で検討が進められています。コンクリートは二酸化炭素をたくさん排出することから、カーボンニュートラルへの取り組みは喫緊の課題と言えます。コンクリート構造物の維持管理においても同様ですが、すでに建設された構造物の延命化は新設工事と比べると二酸化炭素の排出は少ないと言えます。

コンクリート構造物の健康寿命を延ばすことは、脱炭素社会の貢献することに繋がります。そこで、本年度のフォーラムでは、脱炭素社会を目指して、コンクリート構造物の健康寿命を延ばすための維持管理の考え方、点検技術、診断技術を踏まえた補修・補強技術を紹介します。

※本プログラムは土木学会認定CPDプログラムです。

秋田ミニフォーラム

開催日時

2022 **7/22** 金

13:00～17:00 (※開場 12:30)

会場

秋田市にぎわい
交流館AU(あう)
多目的ホール

秋田県秋田市中通1丁目4-1

<https://www.akita-nigiwai-au.jp>

定員

150名

※定員になり次第締め切らせていただきます。

参加無料

詳しくは下記QRコード
HPにて確かめください



■主催／ 一般社団法人 コンクリートメンテナンス協会

<http://www.j-cma.jp/>

■後援／【官公庁】国土交通省、経済産業省、中国経済産業局、広島県、広島市、北海道、札幌市、札幌市、和歌山県、和歌山市、大阪府、大阪市、東京都、沖縄県土木建築部、那覇市、岡山市、岡山市、新潟県、新潟市、金沢市、宮城県、仙台市、秋田県、秋田市、山口県、香川県、高松市、愛媛県、松山市、愛知県、名古屋市、静岡県、静岡市、大分県、大分市、岩手県、福岡県、福岡市 (※開催日順：地方自治体は開催道県の開場のみ後援) 【学会・協会】(公社) 土木学会、(一社) 日本建築学会、(公社) 日本コンクリート工学会、(公社) 日本材料学会、(公社) プレストレストコンクリート工学会、(公社) 腐食防食学会【協会】(公社) 日本建築士会連合会、(公社) 日本技術士会、(一社) 日本コンクリート診断士会、コンクリート構造物の電気化学的防食工法研究会、(一社) セメント協会、日本エルガード協会、ASRリチウム工法協会、Q-R工法協会 【(一社) 建設コンサルタンツ協会】協会本部、北海道支部、東北支部、関東支部、北陸支部、中部支部、近畿支部、中国支部、四国支部、九州支部 (※各支部は当該エリアの会場のみ後援) 【(一社) 測量設計業協会】(一社) 北海道測量設計業協会、(一社) 岩手県測量設計業協会、(一社) 宮城県測量設計業協会、(一社) 秋田県測量設計業協会、(一社) 東京都測量設計業協会、(一社) 新潟県測量設計業協会、(一社) 石川県測量設計業協会、(一社) 静岡県測量設計業協会、(一社) 愛知県測量設計業協会、(一社) 和歌山県測量設計業協会、(一社) 大阪府測量設計業協会、(一社) 鳥根県測量設計業協会、(一社) 岡山県測量設計業協会、(一社) 広島県測量設計業協会、(一社) 山口県測量設計業協会、(一社) 香川県測量設計業協会、(一社) 愛媛県測量設計業協会、(一社) 福岡県測量設計コンサルタンツ協会、(一社) 大分県測量設計コンサルタンツ協会、(一社) 沖縄県測量設計コンサルタンツ協会 (※最寄りの会場のみ後援) ※2022年2月1日時点 (申請中含む)

Lecture Program



そごう しげゆき

十河 茂幸 先生

所 属／近未来コンクリート研究会 代表

専門分野／コンクリート構造物の施工技術に関する研究、
コンクリートの耐久性向上技術に関する研究、
コンクリート構造物の維持管理技術に関する研究

資 格／工学博士、土木学会名誉会員、日本コンクリート工学会名誉会員技術士（建設部門）、コンクリート診断士土木学会特別上級資格 [鋼・コンクリート][メンテナンス]

所属学会／【土木学会】○コンクリート標準示方書改訂委員会 2007 年版幹事 吉田賞選考委員 ○土木学会技術者資格認定委員会主査 土木学会全国大会委員会委員長などを歴任

【日本コンクリート工学会】○コンクリート基本技術調査委員会委員長 JCI 規
準委員会委員長 ○コンクリート構造物の耐久性向上のためのブリーディング
制御に関する研究委員会 委員長 ○東日本大震災特別委員会 材料施工小委員会
委員長 ○コンクリートの収縮問題検討委員会委員長ほか多くの委員会の委員長、
副委員長、幹事、委員、顧問

著 書／○コンクリートのひび割れがわかる本（セメントジャーナル社）
○コンクリート診断士試験合格指南（日経コンストラクション）
○コンクリート診断士試験重要キーワード 120（日経コンストラクション）
○コンクリート名人養成講座（日経 BP 社）ほか多数

賞 /セメントコンクリート論文賞（2 回） 日本コンクリート工学協会功労賞



えら かずのり

江良 和徳 氏

所 属／コンクリートメンテナンス協会

極東興和(株) 事業本部補修部 部長

業務内容／コンクリート構造物の調査、診断、補修、補強業務
亜硝酸リチウム関連技術に関する研究開発

資 格／博士（工学）、技術士（総合技術監理部門、建設部門）
コンクリート診断士、コンクリート構造診断士、
1 級土木施工管理技士、プレストレストコンクリート
技士、コンクリート技士、ほか

所属学会／土木学会、日本材料学会、日本コンクリート工学会、
プレストレストコンクリート工学会

備 考／平成 18 年度より京都大学大学院の宮川豊章教授
ご指導の下でリチウムイオン内部圧入工をテーマと
した研究を行い、平成 22 年 3 月に博士（工学）
の学位を取得

賞 /平成 21 年度 日本材料学会 論文賞
平成 22 年度 日本材料学会 技術賞

Time Schedule

7月22日(金) 開場12:30

開 会 主催者挨拶・趣旨説明 徳納 剛 13:00～13:05

第 1 部 江良 和徳 氏（コンクリートメンテナンス協会 技術委員長） 13:05～14:35

「亜硝酸リチウムを用いたコンクリート補修 一問一答 ～よくある質問にお答えします～」

休 憩 14:35～14:45

第 2 部 十河 茂幸 先生（近未来コンクリート研究会代表） 14:45～15:45

「維持管理概論と小規模コンクリート橋梁の点検要領」

休 憩 15:45～15:55

第 3 部 江良 和徳 氏（コンクリートメンテナンス協会 技術委員長） 15:55～16:55

「維持管理シナリオを考慮した補修工法選定の考え方 ～予防保全と事後保全～」

挨 拶 徳納 剛 16:55～17:00

※講演者、講演題目は3月1日現在のものであり、変更される場合があります。ご了承ください。

参加申込 **参加費／無料**

<http://www.j-cma.jp/>

■申込先／（一社）コンクリートメンテナンス協会のホームページより該当のフォーラム会場へお申込下さい。

※定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。